

令和6年度 第2回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月2日（火） 14時30分～16時30分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 CSルーム
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、石野 和彦、村松 幸男、清水 淳子、伊藤 文雄、長谷川 真利子、藤原 四郎（学校支援コーディネーター）、鈴木 里佳（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 学 校 柳瀬 美穂（校長）、倉田 智幸（教頭）、徳井 雅子（主幹）、太田 正之（CS担当教職員）、片山 里紗（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1）学校評価アンケート項目の検討について
 - （2）学校の抱える課題と改善策について
 - （3）金管バンド部参観の感想等
 - （4）部活動の今後のあり方について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 片山 里紗

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

委員の方たちには、金管バンド部の様子も参観していただいた。

（1）議長の選出について

議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木里佳委員より立候補する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）学校評価アンケート項目の検討について

議長の指示により、主幹より資料に基づき毎年実施している学校評価アンケートについて説明がされた。その後アンケート項目の検討について、委員から以下の発言等があった。

【感想・意見等】

◆低学年は質問内容を理解できているのか。（伊藤会長）

◇低学年の子供には、担任が補足説明をしながら実施している。（校長）

◆低学年から実施していくことは良いと感じた。年齢が上がるにつれて自分の意思が

伝えられるようになるだろう。(伊藤文雄委員)

◆主語が変わり、答えやすくなっていると感じた。(清水委員)、(佐々木委員)

◆協議会委員としては回答が難しい項目もあった。(清水委員)

◇委員の方が、学校と関わったそれぞれの場面で、どう感じたかを踏まえてお答えいただきたい。(校長)

◆読書が大事なことは理解しているが、読書が苦手な子もいる中で、プレッシャーに感じてしまう子供がいるのではと感じた。(長谷川委員)

◇成長するにつれ、徐々に自分の得意、不得意が見えてくるだろう。小学校では様々な経験をし、バランスのとれた成長をしてほしいという願いがある。(校長)

◆学校側がどのような取り組みをしているのかわからないため、難しく感じる項目もあった。その中で、いじめにどう取り組んでいるのかを教えてください。(佐々木委員)

◇子供たちへの聞き取りを大事にしており、毎月子供たちへ「ほのぼのアンケート」を実施している。声掛けの必要な回答をしたすべての子供に、声を掛ける取り組みをしている。(校長)

(3) 学校の抱える課題と改善策について

議長の指示により、校長から資料に基づき、部活動のこれからについて説明がされた。その後、各委員より以下の発言等があった。

◆今まで部活動に入部するのは当たり前のように思っていたが、今までと同じようなやり方ができなくなるのは仕方のないことかもしれない。少年団などは親の負担も多く、土日の活動が主で、なかなか人数が集まらないのではないか。(清水委員)

◇毎年、大会を目指して子供たちの頑張る姿が見られていたが、今年度をもって大会が終了するため、今後子供たちの意欲低下が懸念される。(校長)

◆30分間回泳のために水泳部に入部し、一生懸命活動している姿があるが、教員の負担を考えると今まで通り活動していくことは難しいのかもしれない。(鈴木議長)

◆少年団や地域の活動も人数が集まらないという現状がある。子供たちも発表する機会があると、日々の練習に対する意欲維持につながるのではないか。(藤原委員)

◇今後金管バンド部の活動で、地域の方と一緒に演奏できる機会があればと考えている。(校長)

(4) 金管バンド部参観の感想等

議長の指示により、参観していただいた様子を含め、委員の方からは以下の発言等があった。

【感想・意見等】

◆練習している子供たちの姿を見て、続けてあげたいと感じた。一方、支える側の大

人のことを考えると、様々な課題があるが、今後、協議会の中で協力できることがあるのではないか。(伊藤会長)

◆いろいろな楽器に触れる機会はとても貴重な体験だと感じた。その反面、先生やボランティアがいないと続けることは難しいだろう。地域の回覧を見た大学生が「参加したいが活動の時間帯が合わない」という理由から参加を断念したという話を聞いた。(佐々木副会長)

◇そういった声があることが嬉しくありがたい。時期を変えて再度回覧などでお知らせしていきたい。(校長)

◆部活動は5、6年生の活動のため、後に続く4年生などにも見学の機会があると良いと感じた。現在、演奏を発表する機会はあるのか？(長谷川委員)

◇部員の保護者や先生へ発表ができる場を考えている。色々な楽器に触れる体験を通し、そこで感じたことが子供たちの将来につながればと考えている。(校長)

◆まだ上手に出来ないながらも音が出ていたり、子供たちの頑張っている姿に感動した。(石野委員)

12 報告

① 鈴木里佳学校支援コーディネーターよりコーディネーター研修参加についての報告がされた。

あわせて、クラブ活動についての現状報告があり、現在教員が各活動を見ているが、今後地域の方の中でそれぞれ得意な活動に御協力いただくことで、地域の方と触れ合える良い機会にもなるだろう。

また、3年生の授業に関連し、高丘町の夕組の御協力で、凧揚げが始まった歴史などについて子供たちが浜松について学ぶ良い機会になればと考えている。

② 藤原四郎学校支援コーディネーターより花の会についての現状報告がされた。当日多くの方に御参加いただき、スムーズに作業を行うことができた。また、先日行われた4年生のアイマスク・車椅子の福祉体験についての報告がされた。こちらも多くのボランティアの方に御協力いただくことができた。

③ 教頭より資料に基づき、研修参加についての報告がされた。

その他報告事項等

司会の教頭より、次回の協議会は10月11日(金)13:30からGSルームで開催する旨、説明があった。また、次回の議長について、鈴木里佳委員を推挙したい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

以上